

令和7年度草津市20歳のつどい

【令和7年度草津市20歳のつどいを開催しました！】

令和8年1月12日（月・祝）に、「令和7年度草津市20歳のつどい」を午前・午後の2部構成で開催しました。

本つどいの開催にあたり、昨年8月から5回にわたり実行委員会を実施し、26名の実行委員が、参加者の皆様の心に残る一日を創り上げるべく、一丸となって取り組みました。

今年のテーマは、「20歳の鼓動ー草津から未来へ脈々とー」で、草津で育った20歳の方々の鼓動が、未来へ脈々と受け継がれ、広がっていくことへの願いを込めて決定されました。そのテーマに込められた思いは、当日の開会・閉会の挨拶において、実行委員長、副委員長から参加者の皆様へ伝えられました。

また、開会時の学生時代の振り返り映像、式典での決意のことば、式典後の抽選会の内容は、実行委員が熟考を重ねて企画したもので、参加者一人ひとりがこれからの人生への決意を新たにできるような20歳のつどいとなりました。会場内は終始、温かい拍手に包まれるとともに、盛り上がりを見せていました。

厳粛な式典でありながらも、和やかな空気が漂う中、20歳を迎えた皆様の未来への希望と夢が胸いっぱい広がる、心に響く20歳のつどいを開催することができました。



▲当日の様子



▲実行委員の記念撮影

[担当] 生涯学習課 TEL 077(561)2427

市立全小中学校が参加して 『ESDフェスタ in 草津2025』を開催しました

【ESDフェスタ開催報告】

スクールESDくさつプロジェクトでは、子どもたちが地域課題を体験的な学びを通して、その解決に主体的にかかわり、地域社会の一員としての意識と行動力を身に付けることをめざしています。去る1月21日（水）には、日頃のESDの実践を発表し合うことを通して、他校の実践に学んだり、互いの活動を称え合ったりすることを目的に新堂中学校を会場として『ESDフェスタ』を開催しました。新堂中学校区3校によるESDの取組発表や、全小中学校のESDの実践に対する子どもたちの想いをまとめたビデオメッセージ上映を通して、ESDの学びを交流しました。

特別授業では、ゲストにESD・SDGs推進研究室の手島利夫先生をお招きして、「ESDの魅力」について語っていただきました。本プロジェクトが全校実施になり2年目となりますが、地域課題解決に向けて、子どもたちが地域に提案し行動する実践が増え、社会の形成に主体的に参画する資質・能力の高まりが感じられました。



▲子どもたちに語りかける手島利夫さん

【ESD取組発表】



笠縫東小学校の3年生は、「多くの人にアオバナ（市の花）の魅力伝えたい」と進めてきた「お土産開発プロジェクト」の取組について発表しました。

常盤小学校の6年生は、「つながりを大切にしたい」という地域の思いを受け取り組んだ「ときわカフェ」から見えてきた常盤の町への思いを発表しました。

新堂中学校の1年生は、校区にある世界農業遺産「琵琶湖システム」について調べ、その魅力を様々なところで発信してきた学習成果を発表しました。

【担当】 学校教育課 TEL 077(561)2430

スクールESDくさつプロジェクトの取組はこちらからご覧ください。

ホームページURL

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kosodate/hoikukyoiku/shochugakkou/20230620.html>

学習者用コンピュータ（1人1台端末）の一斉更新を実施しました！

【新しい端末で、より快適な学習環境へ！】

本市では、国のGIGAスクール構想に基づき、全てのこどもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、令和2年度に1人1台の学習者用コンピュータ（以下「1人1台端末」とします。）を購入整備し、児童生徒に貸与しています。導入から5年が経過することから、今年度、滋賀県GIGAスクール構想推進委員会による県域での共同調達事業に参加し、国の補助金を活用した1人1台端末の更新整備を行いました。中学校では令和7年11月、小学校では12月に配備が完了し、新端末を活用した学習を進めています。

新端末は前回に引き続き、小学校はiPad、中学校はWindowsOS端末を使用しますが、今回新たに、タッチペンの付属および画面保護フィルム貼付をしています。また、処理能力等のスペックも更新されていることから、従来よりも快適に、日常的に利活用しやすくなりました。



▲小学校：iPad



▲中学校：WindowsOS端末

令和7年度 草津市プログラミングコンテスト 表彰式・体験交流会を開催

12月23日（火）に「令和7年度草津市プログラミングコンテスト表彰式および体験交流会」を開催しました。

このコンテストは、プログラミングに関心のあるこどもたちがその学びの成果を発表する場として開催をしています。

表彰式では、優秀賞を受賞した13名のこどもに教育長から賞状が授与されました。

今年度より開催した体験交流会は、参加者が優秀賞チームのプログラミングを直接体験する内容です。こどもたちにとっては、感想やアドバイスを聞ける有意義な時間となりました。

【今年度のテーマ】

小学校部門「身の回りで役に立つプログラミング」

中学校部門「社会の課題を解決するプログラミング」

チーム名	テーマ	プログラミング
草津小学校チーム	算検スタートDX	Scratch
渋川小学校チーム	おこづかい帳アプリ	Scratch
笠縫東小学校チーム	環境問題クイズ	Scratch
草津中学校チーム	エコな街づくり	Scratch
老上中学校チーム	SDGsの宣伝	Scratch



▲優秀賞受賞チームおよび作品タイトル

▲体験交流会の様子



▲表彰式の様子



▲優秀賞を受賞したこどもたち

[担当] 教育研究所 TEL 077(563)0334

やまびこ野路教室を開室しました ～不登校のこどもたちの学びの場「やまびこ教室」～

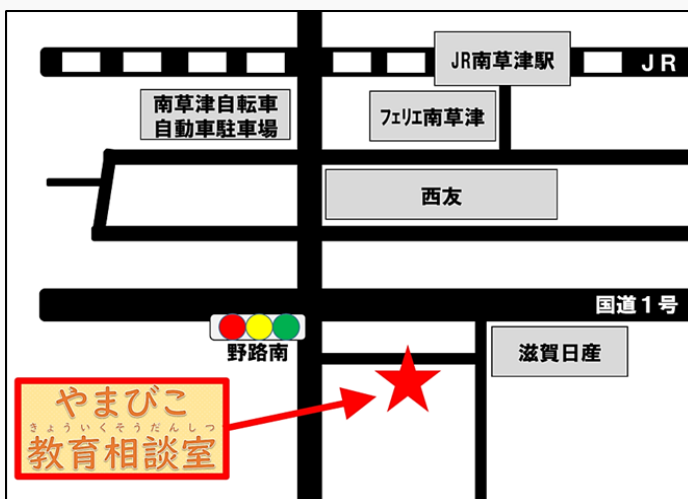
【やまびこ教室 3教室で不登校支援の充実をします！】

草津市では、不登校児童生徒支援の一つとして、やまびこ教室を設置し、学校以外の学びの場、居場所として不登校のこどもたちが利用できるよう運営しています。

このたび、2月2日（月）に南草津駅近傍に第3教室として新たに「やまびこ野路教室」を開室しました。

青地教室（青地町 教育研究所内）、上笠教室（草津市上笠四丁目）との3教室体制で、市内の不登校等の悩みを抱えるこどもを対象として、社会的自立に向けた支援を推進していきます。

やまびこ野路教室
草津市野路五丁目6番43号



【不登校や行渋りなどの相談も受け付けています】

電話番号：563-1270 平日 9:00～17:00

514-7350 土曜日 10:00～17:00



▲開室式の様子①



▲開室式の様子②

【担当】教育研究所 TEL 077(563)0334

「New草津型アクティブ・ラーニング」 の研究発表大会開催

【1人1台端末を効果的に活用するために研究指定校で研究を進めました】

児童生徒に1人1台貸与されているタブレット端末を活かし、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行う「New草津型アクティブ・ラーニング」を推進しています。令和6年度と7年度、2年間の研究を通して情報活用能力をはじめ、言語能力や問題発見・解決能力、数学的思考、創造力やコミュニケーション能力など確かな学力の育成を図りました。

【研究校（南笠東小学校・松原中学校）から市内各校へ】

講師を招いたり先進校の実践を視察したりして、最新の知見を取り入れた研究を進めました。そして、研究発表大会を開催し、市内全小中学校への普及・啓発を行いました。

（松原中学校）



▲総合的な学習の時間（第2学年） 「つながる“学びのファーム”を創ろう」

（南笠東小学校）



▲算数科（第2学年）
「かけ算のきまり」



▲社会科（第5学年）
「情報を生かして発展する観光業」

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

【草津市のこどもの体力向上】

全国の小学5年生と中学2年生を対象に実施された令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、小学校では、女子の体力が昨年度より向上し、男女ともに全国平均とほぼ同等となりました。中学校では、こどもの運動へ取り組む姿勢や意欲が高まるとともに、体力が向上しました。

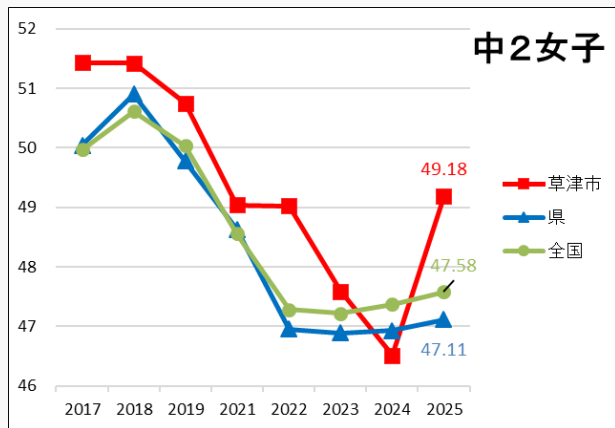
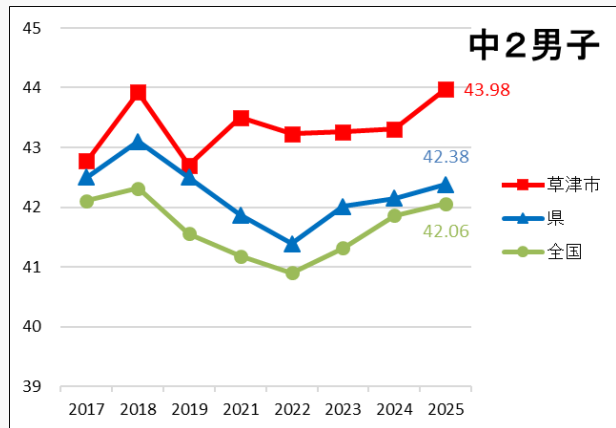
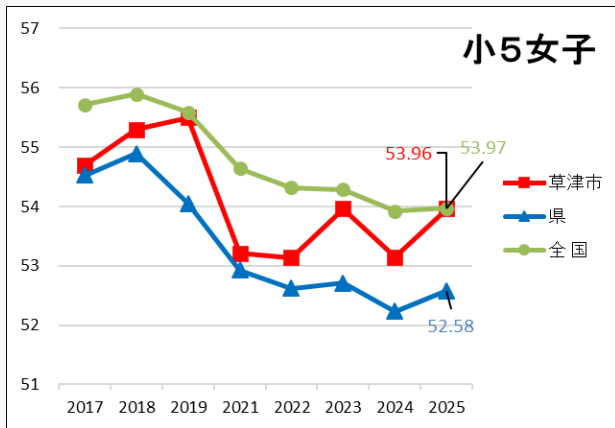
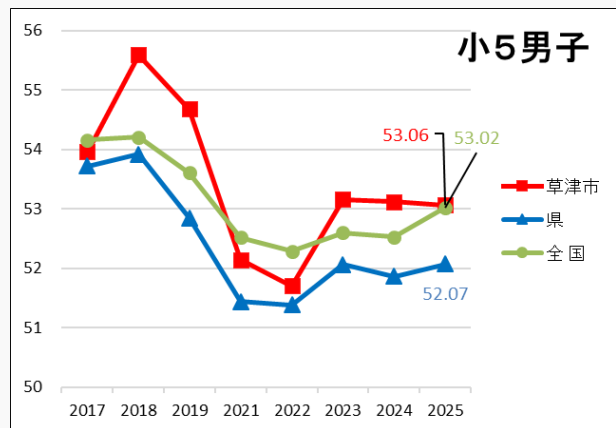
▶ 小学校

体力合計点の向上に向けて、引き続き各校において低学年では運動遊びを推奨し、3年生以上では課題に合わせた短時間運動プログラムや全身持久力の向上に向けて鬼遊びに取り組めます。

▶ 中学校

今後も全国と県の体力合計点を上回るように、各校が作成している「体力向上のP D C Aシート」を見直し、引き続き学校の課題に合わせた取組を実施します。

【体力合計点】 ■：草津市 ▲：滋賀県 ●：全国



【担当】 学校教育課 TEL 077(561)2421